

2024 年 4 月 25 日

COOP トリプルカード みやぎスマイル基金 助成活動報告書

団体・学校名	東北福祉大学学生サークル Positive Action Students Supporters
連絡先	(電話) 090-9034-2571 (FAX) (e-mail) er22019@tfu-us.tfu.ac.jp (ホームページ)
代表者名	相良豪壮 (役職) 代表

1. 助成事業報告

事業名	学生による防災・減災教育事業
目的	県内外の子ども・地域・学校を対象にした防災および減災教育を行うこと。 ① 地域の防災イベント等に参加し、エコノミークラス症候群予防体操や減災かるた、減災〇×クイズ、防災運動会等を用いた体験型学習の実施。 ② 子どもたちを対象に考案・結成された「防災レンジャー」によるヒーローショー等のイベントを通じた防災啓発活動の実施。 ③ 本サークル主催の防災イベントの企画・運営や他サークル・団体と連携した共同のイベントの実施
実施内容	本サークルで行う「防災レンジャーショー」により、体験型の防災プログラムを実施し、子どもたちの生きる力を育み、防災への関心と大学生との世代間交流を図る事業を展開する。 本事業では、地域及び団体と連携し、子どもの防災意識の向上を図るイベントを実施する。 主には、県内外で行われる防災・減災教育ボランティア活動を行う（エコノミークラス症候群予防体操・減災〇×クイズ・減災かるた・防災運動会・防災レンジャーショー）。 ① 2023年6月24日（土） みやぎ生協主催 親子防災ワークショップ「ぼうさい探検隊」において共催イベントを開催

	② 2023年7月11日（火） 東松島市立矢本東小学校での防災教育を実施 場所：東松島市立矢本東小学校 ③ 2023年8月2日（水） 宮城野区少年消防クラブ夏のイベントを実施し、防災レンジャーショーや体験プログラムを実施 場所：東北福祉大学 国見キャンパス ④ 2023年9月14日（木） 柴田町立船迫小学校での防災教育を実施 場所：柴田町立船迫小学校 ⑤ 2023年9月14日（木） 岐阜県高山市立東山中学校の教育旅行にて PASS の活動発表を実施 場所：ホテルモントレ仙台 ⑥ 2023年9月19日（火）、20日（水） 栃木県さくら市社会福祉協議会と共催した「減災運動会」の実施 場所：さくら市立熟田小学校 ⑦ 2023年9月23日（土） 仙台青年会議所主催イベント「防災クエスト」に参加し、イベントブースを対応 場所：勾当台公園 ⑧ 2023年9月24日（日） 東日本大震災・原子力災害伝承館主催「復興のあゆみ・地域の魅力を発信するイベント」を開催 場所：東日本大震災・原子力災害伝承館 ⑨ 2023年10月13日（金）、14日（土）、15日（日） あんしん・くらし・すまい支援機構が荒浜地区に被災地域の利活用を目的とした「深沼うみのひろば」を建設し、オープニングセレモニーやオープニングイベントに参加した。 場所：深沼うみのひろば ⑩ 2023年11月4日（土） 山元はじまるしえ 実行委員会主催「山元町はじまるしえ」に参加し、防災レンジャーショーを実施。
--	--

	場所：旧坂元中学校 ⑪ 2023年11月18日（土） 仙台市桂児童センター主催「親子 de 防災ミッション」に参加し、防災レンジャーショーを実施。 場所：桂市民センター ⑫ 2024年2月22日（木） 外務省が進める対日理解促進交流プログラム「JENESYS」事業に参加し、防災レンジャーショーを実施。 場所：東北福祉大学 東口キャンパス ⑬ 2024年3月2日（土）、3日（日） 広域大学間連携による「防災ワークショップ 春のボウサイウィーク」にてブースの出展。 場所：東京臨海広域防災広場（そなエリア東京）
開始から終了までの流れ	活動実施日（レンジャーショー）の前に会場の下見や音響等の確認を行った。 活動日まで参加者の防災意識が向上するための内容にするため検討を行い、話し合った内容でリハーサルを重ね、活動日を迎えている。活動当日は、参加者が分かりやすい言葉を使った司会進行やレンジャーショーを実施し、防災ブースにおいても参加者と一緒に活動したりした。 活動終了後は子どもたちや参加者との写真撮影や見送りをを行い、使用した会場の片づけや清掃を行った後、反省会を開き改善点や課題を共有しあった。
活動の成果と教訓	・成果 コロナ禍が落ち着き始め、多くの場所で積極的な防災活動や防災レンジャーショーを行うことができた。地域の方々との交流が増え、様々な刺激や知識を学ぶと同時に、自分たちの知識も還元できたと感じた。 これまでは防災レンジャーショーとクイズの二つで行うことが主であったが、今年度からはカラーボールを使ったバケツリレーや本学が作成した防災カルタや深沼うみのひろばで制作された防災 VR も活用し、防災の知識を活用した企画を増やすことができ、子どもたちだけでなく、大人も楽しめるような活動ができたと思われる。 また、今年度は多くの団体と共同活動ができた。今野不動産や NTT 東日本、みちのく仙台 ORI☆姫隊と深沼うみのひろばで共同イベントの実施やそなエリア東京では、他大学と共同の防災イベントを実施し、ネットワークが広がると同時に、運営や発表の方法など次年度にいい

	かせることを多く学んだ。 ・教訓 様々な年代の方々に防災レンジャーショーを披露していくため、楽しいと感じている子どもや、敵役が怖いと感じる子、飽きてきてしまう子がいることから、クイズの難易度や子どもたちを巻き込んだワークショップ、ショーの内容を濃くしたりするなど工夫した。 参加者の年齢層や伝えたい目的に合わせて変えていく必要があり、手先の器用さや性格、子どもの求めていることなど、子どもたち一人一人に合ったサポートを学んでいくことが必要である。 また、ショーやワークショップを通して防災について伝えていくことがメインの活動であるが、今後は、様々な団体や他大学から学んだことが多くあった。その学んだことをいかして、ショー以外の活動にも力を入れていきたい。さらには、ショーも様々なストーリーや新しいキャラクターを取り入れることで新要素をたくさん出し、より防災に興味を持ってもらえるように工夫をしていくことが必要だと考える。
今後の展望など	ここ2年間でコロナ禍における活動の制限がされてきた中、活動が再び動きだし、多くの地域や団体から声掛けいただき、活発に活動できていることを肌で感じる事ができている。宮城県内においては少しずつではあるが、サークルの存在を知ってもらうことができているため、今後も広く声掛けを行い、活動を行っていきたい。 また、県内だけでなく東北地区、あるいは日本全国にサークルの活動を広めていき、多くの人々と関わり、多くの発見ができたと思う。自分たちも防災に関して学び、伝えることで自助・共助が備わり、命を守る行動に結びつけることができるため積極的に活動を行っていきたい。

2. 助成金使途報告書

(1) 収入の部（助成の対象となった事業の分のみ）

確保した資金内容	金額（円）	備考
みやぎスマイル基金	300,000円	
合計	300,000円	

(2) 支出の部（助成の対象となった事業の分のみ）

費目	内容	予算額	実支出額	助成金からの支出額	領収書 No.
印刷費 (コピー用紙)	パンフレット	20,000 円		0 円	
交通費・ 宿泊費等	事業の具体的内容に 記載のイベントにお ける交通費の合計	87,000 円		129,340 円	①~⑬
消耗品費	レンジャー衣装、 レンジャー靴	65,000 円		43,972 円	⑮⑯
修繕費	マイクの修理費	23,260 円		2,750 円	⑭
機材費	SD カード、カメラ、 三脚	104,740 円		86,366 円	⑰⑱
銀行手数料	引き落とす際にかか った手数料の合計 (440 円×3 回)	0 円		1,320 円	⑲~㉑
合計		300,000 円		263,748 円	

*用紙が足りない場合は他の用紙などで補ってください。

*収入の合計と支出の合計が一致していることをご確認ください。

3. 送付必要書類

(1) みやぎスマイル基金 助成活動報告書

(2) 領収書のコピー（助成金から支出した分のみ）番号を振ってください

(3) 成果物（活動をまとめた冊子、パンフレットおよび写真※など）

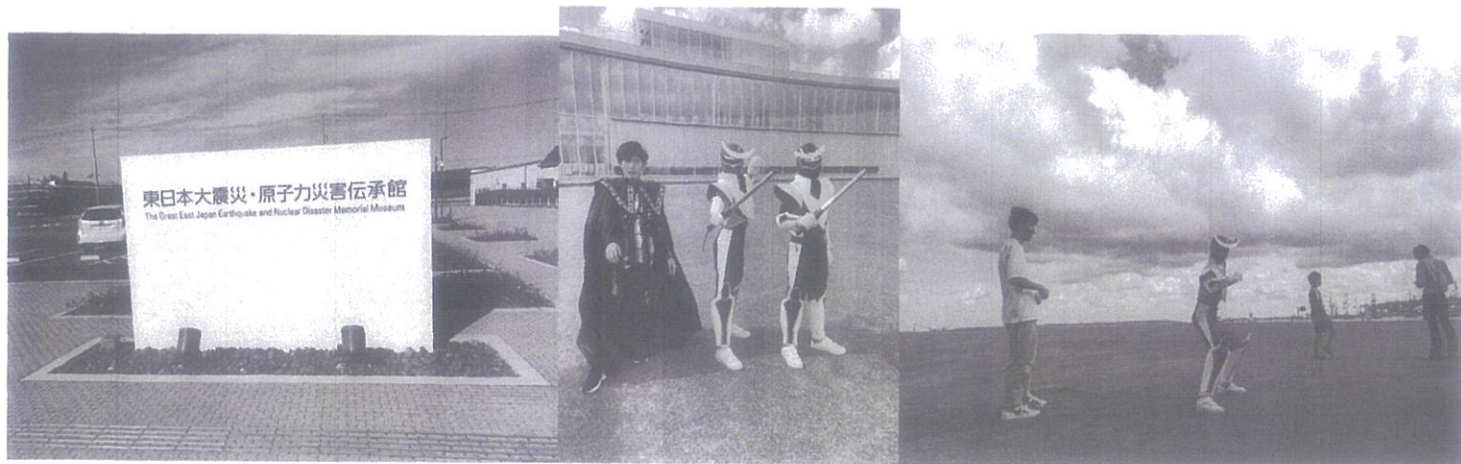
(※写真は HP・SNS 等に掲載可能なものを送付ください。)

2023年度の主な活動

・ 9月24日

・ 東日本大震災・原子力災害伝承館

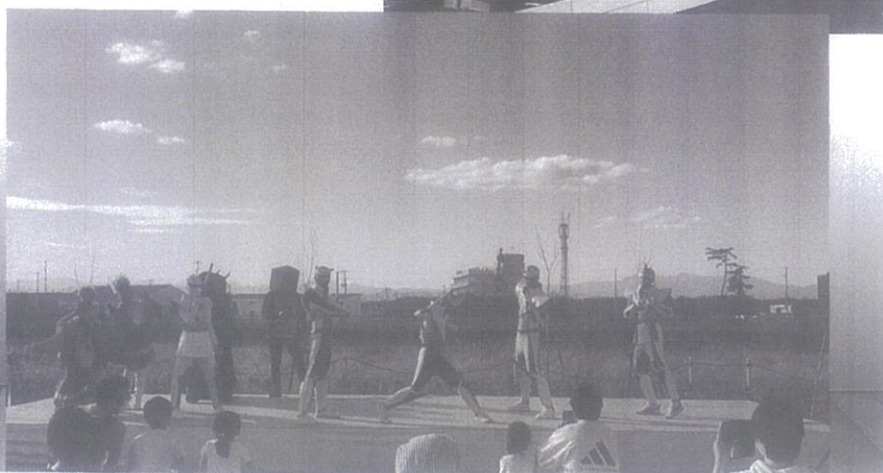
復興のあゆみ・地域の魅力を発信するイベント



・ 10月13, 14, 15日

・ 深沼うみのひろば

(オープニングイベントも含める)





防災レンジャーが子どもたちと一緒に
活動へ参加している様子

- 11月4日
- 山元町はじまるしえ
(亘理郡山元町にて)

山元町のボランティア
の方々と一緒に活動
を行った。



- 11月18日
- 桂児童センター
- 「親子で防災ミッション」



日本赤十字団体の皆様と一緒に